

化学人材育成プログラム 化学人材交流フォーラム2023

主催：一般社団法人日本化学工業協会 化学人材育成プログラム協議会

【開催日時】

10月5日（木） 13:00～17:15

【会場】

日化協2階会議室 & オンライン(Zoom)

【開催趣旨】

本フォーラムは、化学人材育成プログラム会員企業と支援専攻の相互理解を促進することを目的としております。専攻からは、奨学生の皆さんに日頃の研究成果や研究以外の活動、今後取り組みたいことなどを報告していただきます。一方、企業からは、キャリア形成支援や産業界で活躍する博士の事例などを紹介し、企業における博士のキャリアイメージを大学に向けて発信していただきます。

【プログラム】（研究発表の順番は、都合により入れ替わる場合があります。）

- 13:00-13:05 開催挨拶 葛城 俊哉（化学人材育成プログラム協議会・会長代行）
- 13:05-13:25 企業講演 『成長実感を感じキャリア形成を後押しする人財施策について』（旭化成株式会社 山澤 一嘉）
- 13:30-14:15 研究発表 ①～③ [座長 高嶋 務（ENEOS株式会社）]
- ① 電子供与性配位子を導入した低原子価コバルト錯体の合成および分子内C-H結合活性化
小林 翠穂（大阪大学理学研究科化学専攻）
 - ② 水素、二酸化炭素、ヨードメタンを用いた酢酸合成触媒の開発
上高原 一輝（九州大学大学院工学研究科応用化学部門）
 - ③ キラルなホスホロアミダイト-オレフィン配位子を有するイリジウム触媒を用いた不斉合成
矢部 亮太（大阪公立大学大学院理学研究科化学専攻）
- 14:15-14:25 < 休憩 >
- 14:25-15:10 研究発表 ④～⑥ [座長 齊藤 周（株式会社日本触媒）]
- ④ カフェ酸由来ビニルカテコールの精密重合による新規機能性バイオベースポリマーの開発
谷崎 志帆（東京工業大学物質理工学院応用化学系）
 - ⑤ 開環重合法による環状ポリトリメチレンカーボネートの合成検討
平野 直登（奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科物質創成科学領域）
 - ⑥ 有機ホウ素触媒を利用した含窒素環式化合物の水素化/脱水素化を鍵とする水素精製
橋本 大輝（大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻）
- 15:10-15:20 < 休憩 >
- 15:20-16:05 研究発表 ⑦～⑨ [座長 吉井 範行（信越化学工業株式会社）]
- ⑦ 触媒的[1,3]-窒素転位反応による多置換オルトアミノフェノール誘導体合成に関する研究
鈴木 麻生（東北大学大学院理学研究科化学専攻）
 - ⑧ 側鎖の配位効果を利用したペプチドフォールディング集合構造形成
小熊 蒼汰（東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻）
 - ⑨ ドラッグデリバリーシステム(DDS)応用を指向したペルフルオロアルキル基を有するペプチドの細胞内取り込み
門田 晃司（東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻）
- 16:05-16:15 < 休憩 >
- 16:15-16:55 博士活躍事例紹介（15分×2件） [進行：事務局]
- 辻 幸盛（花王株式会社）
 - 大石 将文（三井化学株式会社）
 - 総合質疑応答(10分)
- 16:55-17:05 総評 宍戸 厚（東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所）
- 17:10-17:15 閉会挨拶 半田 繁（一般社団法人日本化学工業協会・常務理事）
- 17:30-19:00 懇親会